

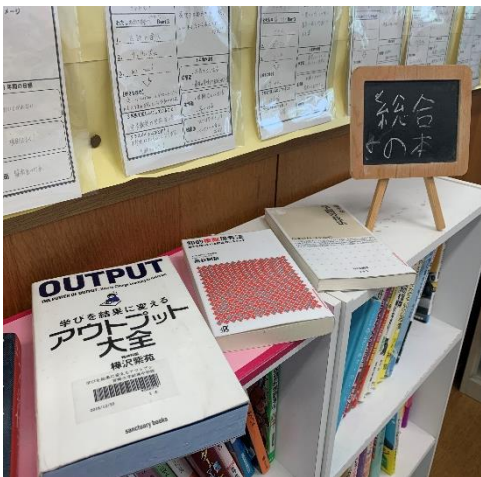
「本との出会い」 目標に活動

図書委員会は、学級文庫や探求を豊かにする本の充実、おすすめの本紹介などを行い教室で本と出合えるようにしています。学級文庫を充実させることで、文学作品や新しいジャンルの本に目を向けたり、社会問題へ目を向けたりすることを促進しています。また、探求を豊かにする本を充実させることで、新しい視点を見つけたり、自分の人生プランにつながるような記事を読んだり、本の並びをジャンル別に置き換えたりして、本への関心が高められています。

放送を通して本と出合えるようになりま。昨年度の昼食時間に行われ、「吾輩は猫である」や「人間失格」などの本が紹介されたおすすめの本紹介コーナーは、今年度の六月から再始動し、毎週

木曜日に開催される予定です。実際にどんな作品かを耳で聴いてもらうことで、一人でも多くの人に興味をもてるようにしてくれているので、ぜひ耳を傾けてみてください。

全校図書委員会の活動を受けて、各学級でも様々な取り組みが行われています。例えば、図書委員会のおすすめの本を紹介したり、ナイスパスブックへの積極的な記入を促したり、本の並びをジャンル別に置き換えたりして、本への関心が高められています。



図書委員会から手書きメッセージ

突然ですが、みなさんは「自分だけのお気に入りの本」に出会ったことがありますか？
「どんなときにもこれを読めば大丈夫」と思える1冊がある人、まだ自分の中には「ほっと収まるお気に入りの本」に出会えていない人、さまざまだと思います。私たちは、一人でも多くの生徒が「自分だけのお気に入りの本」に出会えるように、多面から本を紹介する案内人です。ぜひ、心をオープンにして、いろいろな本との出会いを大切にしてみてください。そして、興味がある本は、すぐに読んでみてください。そうすれば、あなただけの「お気に入りの本」が見つかるはずですよ。

No.10 やくだてから①

「視点」があるから「見たいもの」が見えるし、「考えたいこと」が考えられるようになる。各教科の授業では、各教科ならではの「視点」を学んでいる。もっともっと「視点」を増やしていきたい。

▼ そんなときには

- 授業のなかで先生が「視点」という言葉を使ったときに「あつ」と反応してみよう。
- 学んだ視点を忘れないように保管・記録してみよう。
- 学んだ視点を使うことで、どんな見方・考え方ができるようになったかを言葉にしてみよう。

視点を知ると世界が変わる
視点は探究する方法になる
ヒントはいるんなどころに

No.13 つくりだすから①

他者との出会いによって刺激を受けたり、自分にはない学びを得たりすることができる。学校の中や学校の外にいる素敵な他者に出会いたい。そして、読書などを通して先人たちの考えに出会いたい。

▼ そんなときには

- 各教科の授業や総合的な学習の時間、学校行事などを通して、学校の仲間との出会いを楽しんでみよう。
- 読書などを通して、先人たちの考えに触れてみよう。
- 学校の外にいる素敵な大人に、自分から積極的に会いに行き、たくさん刺激と学びを得てみよう。

学校の中での出会いを増やす
学校の外での出会いを増やす
先人たちとの出会いを増やす



編集者あとがき

こんにちは。生徒会総務です。この新聞は、全校専門委員会の活動を全校生徒に知ってもらうために、これから二週間に一回発行していきます。

今回は、全校図書委員会を取り上げさせていただきました。生徒のみなさんも活発に活動を行っているイメージを持っていて図書委員会だと思えますが、図書委員会の活動をもっと深く知っていただけたでしょうか？

今後も各専門委員会の活動を、パターンカードを用いてわかりやすく紹介していきますので、ぜひ委員会の活動に興味をもっていただけると幸いです。

生徒会総務